

Webインターフェイスおよび CLI 設定例によって Option 鍵 VCS をインストールして下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[Webインターフェイス Option 鍵 インストール例](#)

[CLI Option 鍵 設定例](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料は Webインターフェイスおよび Command Line Interface (CLI) によって Cisco ビデオコミュニケーション サーバ (VCS) の Option 鍵のインストールを記述したものです。

Viridiana フェンテスによって貢献される、Cisco TAC エンジニア。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

VCS インストール

Webインターフェイスおよび CLI によって到達可能である VCS のインストールに成功し、有効な IP アドレスを適用しました。

に適用し、VCS シリアル番号のための Release 鍵 有効なを受け取りました。

Webインターフェイスか CLI によって管理者アカウントの VCS にアクセスできて下さい。

注: インストレーションガイドはここに見つけることができます:

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/telepresence-video-communication-server-vcs/products-installation-guides-list.html>

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

VCS バージョン x8.7.3

VCS は x7.X および x8.X リリースを制御します

VCS Expressway x7.X および x8.X リリース

PuTTY (ターミナル エミュレーションソフトウェア)

--また、セキュア CRT のようなセキュア シェル (SSH) をサポートするターミナル エミュレーションソフトウェアを、TeraTerm 等使用する可能性があります。

Option 鍵の認可電子メール。

Webブラウザ、Firefox のような、Internet Explorer かクロム。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

Webインターフェイス Option 鍵 インストール例

このビデオ Webインターフェイス例はこの資料を補います。

ステップ 1: VCS をインストールしたら、シリアル番号を持てば PAK およびシリアル番号を使用してオプション キーに適用されて、Release 鍵およびオプション キーが含まれているチームを認可しているライセンス電子メールを Cisco から受信します。受け取るものおよびオプション キーを見つける方法の例はここにあります。

注: PAK の例はこの資料の範囲外にあります。

例認可電子メール

You have received this email because your email address was provided to Cisco Systems during the Serial Number Lookup process for software license activation key/file. Please read this email carefully and forward it with any attachments to the proper system administrator if you are not the correct person.

```
System Serial Number      : 0B616767
Hardware Serial Number    : 0B616767
MAC Address               : 000000000000
Service Contract          : -
SC End Date               : -

Software Part Name        : L-VCS-FINDME:
Tandberg Item No         : L-VCS-FINDME:VCS - Enable User Policy feature
Shipped Version           : -
Shipped Version Key       : 116341U00-1-1C328745
Shipped Image URL         : -
Upgrade To                : -
Upgrade To Key            : -
Upgrade To Image URL      : -
```

This is the name and type of option key you will install.

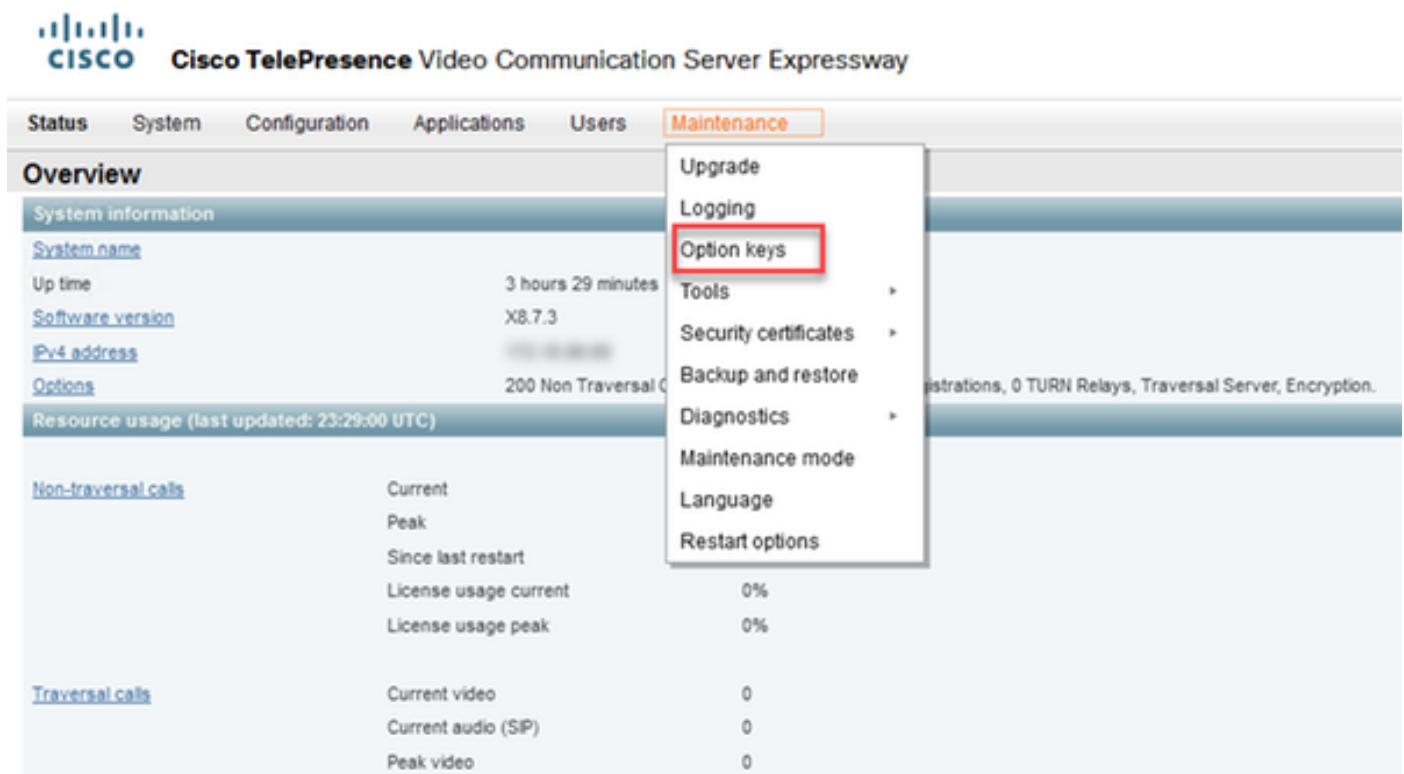
```
Options
Cisco Option Name        : LIC-VCS-300:
Tandberg Option Name     : 116341X300:VCS - add 300 non-traversal calls
Option Key                : 116341X300-1-7D03B558
```

```
Options
Cisco Option Name        : LIC-VCS-DEVPROV:
Tandberg Option Name     : 116341P00:VCS - Enable Device Provisioning
Option Key                : 116341P00-1-1FEB68A1
```

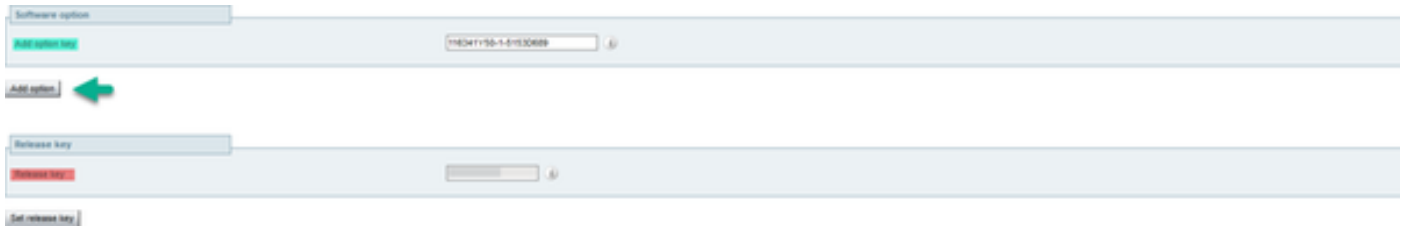
This alpha-numeric chain is what you will add through the Web Interface or CLI

```
Options
Cisco Option Name        : LIC-VCS-GW:
Tandberg Option Name     : 116341G00:VCS - Enable GW feature
Option Key                : 116341G00-1-96554215
```

ステップ 2： 管理者アカウントの Web インターフェイスへのログイン、メンテナンス > オプションキーへのナビゲート



手順 3： Option 鍵を受信したコピーし、追加 Option 鍵 フィールドにそれを貼り付け、オプションを『Add』 をクリックして下さい電子メールから。

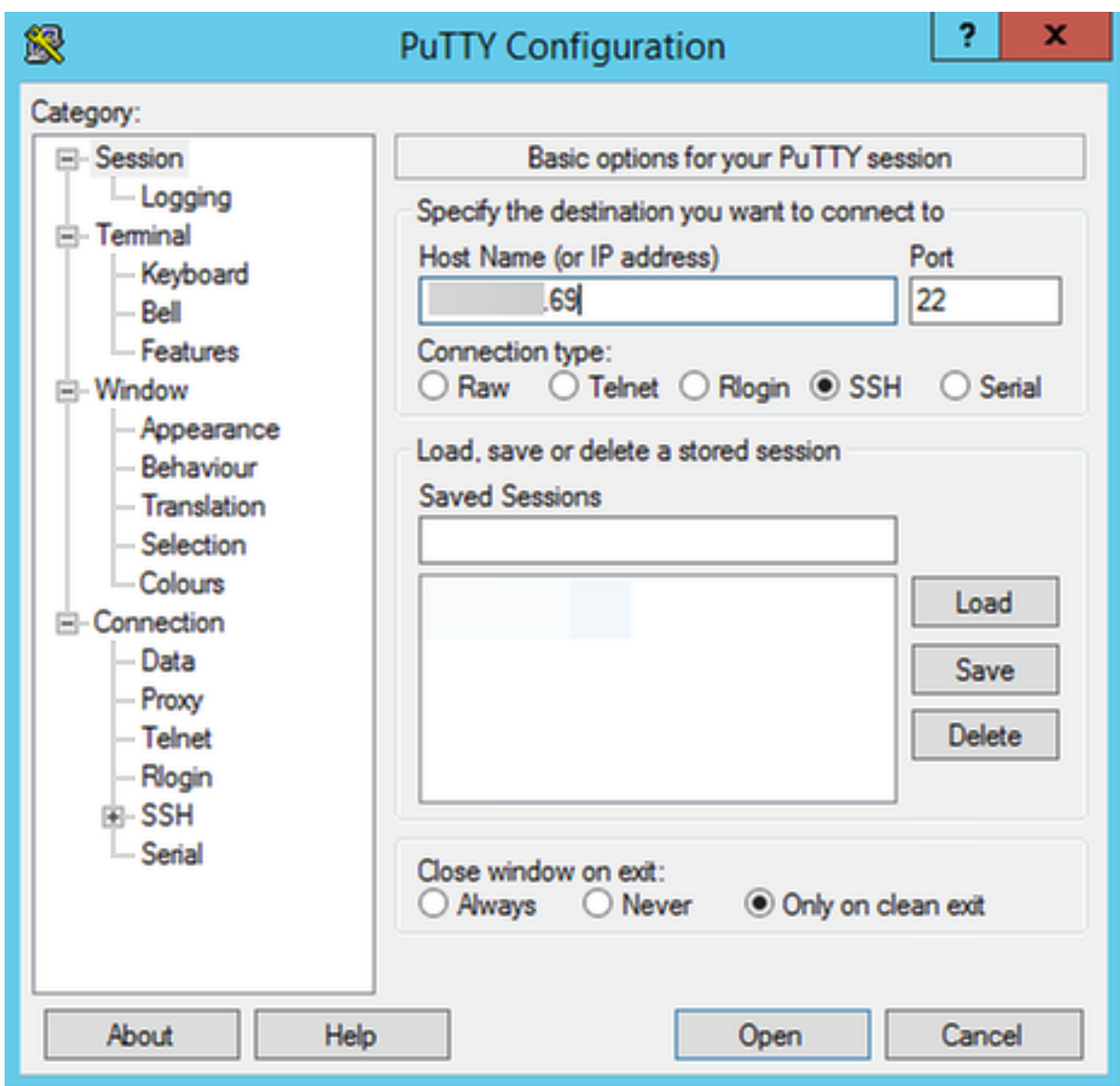


注: フィールドの Option 鍵を追加します Option 鍵を追加して下さい。 Release 鍵 フィールドの Option 鍵を追加するエラーを引き起こすのはよくある 間違いです。

注: VCS に Option 鍵を追加するとき、すぐに実施されます。再始動が必要となりません。

CLI Option 鍵 設定例

ステップ 1: CLI SSH セッションを開いて下さい:



ステップ 2: 管理者アカウントのログインはプロンプト表示されたとき管理者 パスワードを入力し。

手順 3: コマンドを、xCommand OptionKeyAdd キー入力して下さい: <option key>

```
login as: admin
Using keyboard-interactive authentication.
Password:

2 alarms:
 * warning   Insecure password in use - The root user has the default password
set
 * warning   Insecure password in use - The admin user has the default password
set

Last login: Mon Nov  7 00:14:54 UTC 2016
TANDBERG Video Communication Server X8.7.3
SW Release date: 2016-04-14 10:20, build

OK
xCommand OptionKeyAdd Key: 116341L00-1-D1E934F8
*r Result (status=OK)
   ID: 3
*r/end
```

Note the space that goes between "Key:" and the option key

"status=OK" indicates the option key was successfully added

注: フィールドの Option 鍵を追加します Option 鍵を追加して下さい。Release 鍵 フィールドの Option 鍵を追加するエラーを引き起こすのはよくある 間違いです。

注: VCS に Option 鍵を追加するとき、すぐに実施されます。再始動が必要となりません。

確認

Option 鍵を追加して下さい。オプション キー ページの上で、Option 鍵追加される示すキーは表示する n 鍵の表ですバナー 表示する観察すれば。

Status System **Configuration** Applications Users Maintenance

Option keys

Option key added

Key	Description	Status	Validity period
<input type="checkbox"/> 118341Y50-5-51530609	50 Traversal Calls	Active	Unlimited

Cancel Select all Unselect all

System information

Serial number: 09C166FF
 Active options: 0 Non Traversal Calls, 50 Traversal Calls, 2500 Registrations, Encryption.

Software option

Add option key:

Add option

Release key

Release key:

Set release key

Current licenses

Non-traversal calls	0
Traversal Calls	50
Registrations	2500

トラブルシューティング

キーを追加すればエラーを見ます追加することが、「Option 鍵を」不可能

CISCO Cisco TelePresence Video Communication Server Control

Status System Configuration Applications Users Maintenance

Option keys

Unable to add option key

Key	Description	Status	Validity period
<input type="checkbox"/> 118341Y50-5-51530609	50 Traversal Calls	Active	Unlimited

Cancel Select all Unselect all

- それが Option 鍵値であること正しく英数字チェーンをコピーすることを確認して下さい。そこにでした余分なスペースまたは文字確認しないで下さい。
- 正しい VCS が Expressway に Option 鍵を適用することを確認して下さい。オプション キーはデバイス シリアル番号に一致します。
- 追加します追加 Option 鍵 フィールドおよびない Release 鍵 フィールドの Option 鍵を確認して下さい。VCS は Release 鍵 フィールドの Option 鍵を受け入れ、再始動のためにプロンプト表示します

注: VCS に Option 鍵を追加するとき、すぐに実施されます。再始動が必要となりません。

Option keys

Saved: The release key has been updated, however a **restart** is required for it to take effect.

再始動の後で、バナー ポップアップしますエラー「無効な Release 鍵」と観察して下さい:



Overview

 Invalid release key: Release key is missing; the system is in demonstration mode and has limited functionality; contact your Cisco support representative to buy your release key.

Release 鍵および Option 鍵正しいフィールドにインストールし、この問題を解決するために VCS を再度再起動して下さい。

この資料の **Troubleshoot** セクションで文書化されています手順を確認した後エラーに出会ったら Cisco TAC に連絡して下さい。